



君の声で変えられるセカイがここにある ～体験探究型地域学習「那珂川学」～

「那珂川学(なかがわがく)」は、普通科の「総合的な探究の時間」で実施している本校独自の地域学習です。本校がある那珂川町は、人口減少が続き『消滅可能性自治体』と危惧されています。高齢化が進み、若者が減少し続けている現在、本校生が町に飛び出し、役場や商工会、様々な企業など町内の方々と交流をすることは、本校生の学びの成長のみならず、町の活性化にも寄与しています。

実際の活動では、1年生で町内の様々な方々に聞き取りを行い、町内探訪や特産品の調査・体験などを通して地域の抱える課題への意識を深めます。それを踏まえて2年生では、課題解決に向けての取り組みを自ら設定し、フィールドワークなどを通して、解決に向けた実践をします。またインターンシップとして町内の各事業所で就業体験をします。特にデュアルシステムという取り組みでは、長期にわたり毎週1回、事業所で実習を行い、より実践的な力を養います。

こうした取り組みの成果は、年度末に町主催の「なかがわ学発表会」において町民の方々や中学生に向けて発表しています。昨年度は、2年生のグループが町の知名度の低さを改善するためにSNSでの発信を町に提案し、それが採用されて今年4月からは町の公式ツイッターが開設されるなど少しずつ成果も出ています。

那珂川学を学んだ生徒からは、「那珂川町のことがよく分かり、町に親しみを持てるようになった」などの感想がありました。今後は、実践型探究学習を実践している全国の高校生が集まる『マイプロジェクトアワード』に参加するなどして那珂川学の内容をさらに高めていきたいと考えています。

【フォトギャラリー】那珂川学（1年生）の様子です



座禅体験



ブルーベリー剪定作業



地域おこし協力隊講話